

日本空手協会 千葉県本部だより

＊第31回関八州覚醒親善空手道選手権大会
令和元年10月20日(日)9時～
伊勢原市体育館



団体形

みんなで一緒に稽古したので、結果はどうであれ、稽古の一環としてよかったと思います。船橋支部 中島



中年女子形

いつもと違って凄く緊張しました。野田支部 小林



泰山Ⅲ男子形

三位になりました。稽古不足でした。全国大会は頑張ります。

大谷先生



夫婦形

毎年、参加していますが、なかなか緊張します。これからも夫婦仲良く、空手道を続けます。野田支部 菊地夫妻



組手試合前打ち込みに、余念がない古宇田先生。

大会発起人 夫婦形生みの親

大会会長 大津直之介

前回(八年前)の神奈川県主催の関八州大会では、当時県本部長でありました。柏木先生が伊勢原駅まで迎えに来て下さいました。立派なきれいな駅だったと強く印象に残っております。小生、齢八十路を過ぎて、なかなか皆様にお目にかかる機会も減ってまいりましたが、この大会だけはどうしても参加したいと思い、弟子に連れてきてもらいました。

松濤二十訓の一つ「勝つ考えは持つな、負けぬ考えは必要」とあるように、心の中ではあの人にあの先輩に負けたくないという闘志を燃やして乗り込んできた人もいられるでしょう。自分の弱さを知りそれから逃げない、前向きな姿勢でいるとき人は決して負けない。勝つ必要がどこにあるか。

一年に一度のこの大会を楽しみ、仲間に出会える喜びを味わって、大いに闘志を燃やしてください。

【2019.10.23 広報 市川】